「ふるさとくまもと応援寄附金」の活用について（御報告）

ふるさとくまもとを応援していただきました皆様　へ

昨年度は「ふるさと納税」で、ふるさと熊本県に対し御寄附をいただき、誠にありがとうございました。

さて、本日は、皆様からいただきました貴重な志である寄附金の活用内容につきまして、御報告させていただきます。

熊本県では、「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち、誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」の実現に向け、全力で取り組んでいます。

今後とも、ふるさと熊本県へ熱い御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成２５年４月２２日

熊本県知事　蒲島郁夫

《平成２４年度の寄附金の受付状況》

◆共同窓口受付　906人　5,193万円

〈内訳〉

熊本県への寄附金	**880人**	**3,513万円**	**→**	**県の事業に活用**
市町村への寄附金	213人	1,680万円	→	市町村へ交付（市町村の事業に活用）

注）県と市町村（複数可）の両方へ寄附ができる共同窓口ですので、人数は一致しておりません。

【基本的な考え方】

◇皆様のふるさと熊本への温かい想いをしっかりと受け止め、大切に使わせていただくため、一旦、基金に受入れ、使途を明確にして活用します。

◇「幸せを実感できるくまもと」の実現を加速化するため重点的に実施する事業や、将来の「くまもと」の礎を築き、熊本の可能性を大きく飛躍させる施策に活用します。

※上記の考え方に基づき、皆様からいただきました寄附金を次の事業の財源に活用させていただきます。

【教育の振興】

寄附金活用額　1,241万円

『夢教育応援分』を活用した事業です

■熊本時習館私学夢教育事業

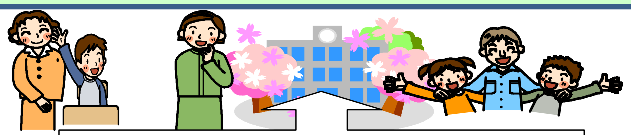
かつての名だたる藩校の名を冠した「熊本時習館構想」の名の下、県内の私学で学ぶ生徒が、学校の垣根を越え、交流・切磋琢磨することで、それぞれの夢の実現を図っていくことができるよう応援しています。生徒向けの講演や特別授業、教職員向け研修会、他の模範となる生徒の表彰など様々な事業を実施します。

がんばる高校生県表彰

■応援団体（高校等）への交付

皆様から寄附申込み時に指定いただいた団体（高校等）へ交付し、各校等で子どもたちの「夢への架け橋」となる教育に役立てられます。

■教育サポート事業



・個に応じた指導や支援による学力の向上
・いじめ等のない落ち着いた学校生活
・保護者や地域から信頼される教員、学校

不登校支援

特別支援教育支援

・教員の子どもと向き合う時間の拡充
・教員の負担軽減による多忙感の解消
・教員の指導の充実及び指導力の向上
・危機管理体制の向上

生徒指導支援

特別支援学校児童生徒支援

教育サポーターの活用

「夢」を育み、実現させる学校へ

●小中学校サポーター
①不登校サポーター
②生徒指導サポーター
③特別支援教育サポーター

●特別支援学校サポーター

重複学級（複数の障がいを併せ持つ）の児童生徒の食事、排泄、教室の移動補助や給食の二次調理など、学校における日常生活を支援

【地域活性化】

寄附金活用額　300万円

■地域づくり

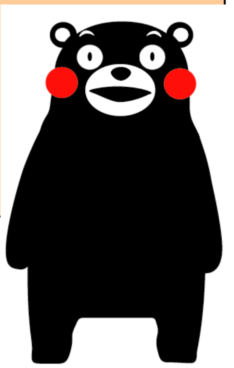
地域づくりチャレンジ推進事業により、市町村や地域の方々の自主的な地域づくりの取組みや、市町村域や県境を越えて連携した取組みを総合的に支援します。

●移住の促進
●起業の誘発
●交流の拡大
●絆の構築（地域コミュニティ維持）　など

ー交流促進の支援ー
「山ガールサミット」（上天草市）

ーコミュニティビジネス起業化の支援ー
そばの6次産業化（美里町）

みなさんありがとうございました♪
大切に使うモン！



©2010熊本県くまモン

【産業振興】

寄附金活用額　800万円

■観光物産交流スクエア活用

僕の部屋もできるよ！みなさんに遊びに来てほしいモン！

観光物産交流スクエアを、くまモンを活用した観光・物産等の情報発信交流拠点として整備するため、施設のリニューアルを行います。

- ●観光・物産等情報コーナー
- ●県産加工品、特産品販売コーナー
- ●地域産品等を活用した軽食コーナー
- ●交流ステージ
- ●くまモン営業部長室

■くまもと赤のブランド推進事業

くまもとには、
おいしい「赤」がある。

熊本は全国有数の食料供給基地として多様な農林水産物が生産されており、トマト、いちご、あか牛など「赤」をイメージさせる農林水産物が数多くあります。これらを「くまもとの赤」のブランドとして全国に発信、認知度を向上させ、その効果を県産農林水産物全体へ波及させます。

- ●認知度調査　●くまもと「赤」のレストランフェア
- ●「赤」の商品追加募集･商品解説集作成

【環境の保全･再生】

寄附金活用額　200万円

■「水の国くまもと」推進事業

水前寺江津湖湧水群（熊本市）

熊本県には、筑後川、白川、球磨川など九州を代表する河川の源流や、1,000箇所を超える湧水源があり、国の名水百選には全国最多の８箇所が選ばれています。この豊かな水資源、特に地下水の恵みは生活や産業の基盤となり、文化を育んできました。私たちの宝である地下水を守り抜き、熊本の水の魅力に磨きをかけ、「水の国くまもと」を広く県内外へ発信するための事業を展開します。

地下水を守り抜くための対策
・阿蘇の地下水保全に向けた調査
・地下水かん養などの普及啓発

水の魅力の磨き上げ
・地域の湧水源の保全・活用方策の検討
・「全国水の国サミット（仮称）」による水の魅力の発信

水の週間記念式典
（水の作文ｺﾝｸｰﾙ表彰式）

【安全で安心な県民生活の確保】

寄附金活用額　100万円

■みんなが安心して歩ける街づくり

防犯ボランティア団体･地域住民･自治体等と連携･協働した活動を積極的に推進するとともに、防犯ボランティア団体の主体的な活動を促進するため、物的支援を行い、みんなが安心して歩ける街づくりを推進します。

●防犯ボランティア団体への物的支援
①　防犯ベスト　　④懐中電灯
②　防犯腕章　　⑤赤色停止灯
③　活動用帽子

防犯ボランティア団体による
子ども見守り活動

★平成24年度　 7．12熊本広域大水害被害者生活再建助成事業

寄附金活用額　88万円

ふるさと納税制度による寄附控除は、毎年受けられます。したがって、この制度を活用し、継続して「ふるさとくまもと」を応援していただくことができますので、平成２５年度もどうぞよろしくお願いします。

ふるさと納税をくまもとへ！ Kumamoto